



社内報

54期 8月号



**Standard Transport
Group**



1.表紙

2.ESGについて

3.前月トピックス

4.トラブル報告

5.編集後記

『なぜ、中小企業がESG経営をしなければならないのか？』

日本の法人数170万社の内、資本金3000万未満の中小・零細企業の割合90%であり、日本のサプライチェーンを支えている。

原材料の調達、製造、物流、販売、使用、廃棄の流れを、抜本的に見直す時期にきている。

ESGはもともと温室効果ガスを削減、カーボンニュートラルを達成する意味合いが強かった。

SDGsとは2015年国連決議で2030年までの15年で17の持続可能な開発目標を達成する国際的な約束である。

特に、気候変動が重要であり、温室効果ガス削減が特に重要な項目である。

ESGとはSDGsの一部であるといえる。

ESGが推進しない原因として、コスト > 効果、利益 であり、コストに見合うリターンが短期的には見えにくい。

ただし、世界的にはESGを取り入れたサプライチェーンが構築されているので、取り組まないリスクが甚大であり、『リスク』としてではなく『機会』として経営をしなければ将来生き残れない。

ESG経営とは、『人権』・『労働』・『環境』に配慮した経営であり、DXや業務改革を取り入れながら経営目標を達成することである。

ESG経営をするにあたり、『環境』から取り組みをすることが指標的に目標設定やKPIを管理しやすい。

最初のSTEPとしてEから取り組むことで、グリーンビジネス、サステナブルビジネスなどの『社会問題を解決するための事業』を創出することが、これからの事業戦略である。

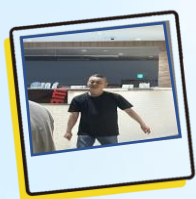
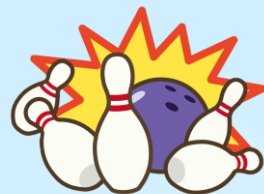
新たな価値創造での経営戦略効果、融資の優位性、新規顧客の創出、人材採用、そして社会貢献をすることが本来のESG経営といえる。

『健康経営ブライト500のために』

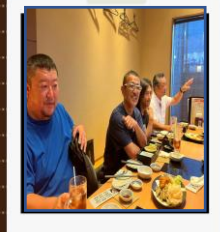
- ①禁煙率管理、1日1本削減キャンペーン
- ②定期健康診断 法令でさだめる項目以上・・結果の管理はどのようにするか？
- ③ストレスチェック・・・内容を精査して取組む
- ④安全健康教育・・・安全ミーティング開催と同時に実施する。
社内報を作成、HPで配信
- ⑤休憩時間管理・・・職種別、営業所別に時間管理をする
- ⑥有給取得管理・・・取得管理を視覚化する
- ⑦経営方針発表会・・・年1回 管理者へ発信する場を設ける
- ⑧食生活応援・・・夏場の水分補給推奨
リスク情報の継続的な提供（社内報）
- ⑨社内広報・・・情報提供の場として活用（月1回 給与明細書と同時配信）
三井住友『ココカラダイアリー』の歩数管理は、管理職に実施を促し、結果を社内報で公表。
- ⑩育休・介護・・・就業規則に沿った取得推奨、結果の公表
- ⑪各種予防接種推奨・・・接種希望者へは会社で補助（金額は見直し、公表）
- ⑫脳MRI検査・・・実施していることを再度告知する
- ⑬長時間労働者数、時間目標・・・職種別を実績ベースでカウントしてから削減目標を設定
- ⑭メンタルヘルス対策・・・社内相談窓口は管理部、社外は検討中
- ⑮福利厚生・・・横浜信金主催の福利厚生サービスに対して各人分申込済み
※横浜信金「FUKURI」各個人アカウント配布済

前月トピックス

7月12日（土）に鹿島営業所にてボーリング大会、
親睦会を開催しました。



親睦会



前月トピックス

7月7日 熱中症セミナー開催

6月1日からの熱中症対策義務化に向け みんなでセミナーを受講

The screenshot displays a Zoom meeting interface. The main window shows a presentation titled '熱中症対策' (Heatstroke Countermeasures) with four slides detailing different levels of heatstroke:

- 熱失神 (熱中症レベル1)**
《特徴》 血管の拡張によって血圧が低下し、脳への血流が悪くなることにより起こります。
《症状》 ・めまい ・一時的な失神 ・顔面蒼白 ・脈が速く弱い
- 熱けいれん (熱中症レベル2)**
《特徴》 大量に汗をかき、水だけ補給して血液の塩分濃度が低下した時に足、腕、腹部の筋肉に痛みを伴ったけいれんが起こります。
《症状》 ・筋肉痛 ・手足がつる ・筋肉がけいれんする
- 熱疲労 (熱中症レベル3)**
《特徴》 大量に汗をかき、水分の補給が追いつかないと、身体が脱水症状になり熱疲労の症状がみられます。
《症状》 ・全身がだるい ・悪心、嘔吐 ・頭痛 ・集中力や判断力の低下
- 熱射病 (熱中症レベル4)**
《特徴》 過度に体温上昇し、脳機能に異常をきたした状態。意識障害がみられたり、ショック状態になる場合もあります。
《症状》 ・体温が高い ・ふらつき ・意識障害(意識がない、言動がおかしい) ・呼びかけや刺激へ反応が鈍い

At the bottom of the presentation, it states: 「救命できるかは、「いかに早く体温を下げられるか」」 (Whether you can be saved depends on 'how quickly you can lower your body temperature').

On the right side of the Zoom window, there is a grid of video feeds showing multiple participants attending the seminar. Some names like 'sunik', 'y.sak', and '牧田' are visible.

鹿島営業所

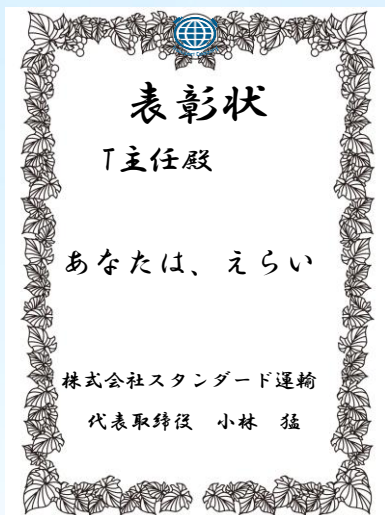


埼玉営業所・大利根事業所



前月トピックス

またも事故処理、救護活動により社内表彰



7月23日（水）にレンタカー事業課 T主任が相模原市南区を走行中に、事故現場に遭遇、警察、救急車対応に加え、交通整理など救護活動をするという、良い事例がありました。

スタンダード運輸の ESGのスコアカード



今後は、管理者のECO検定受講などを取り組みます

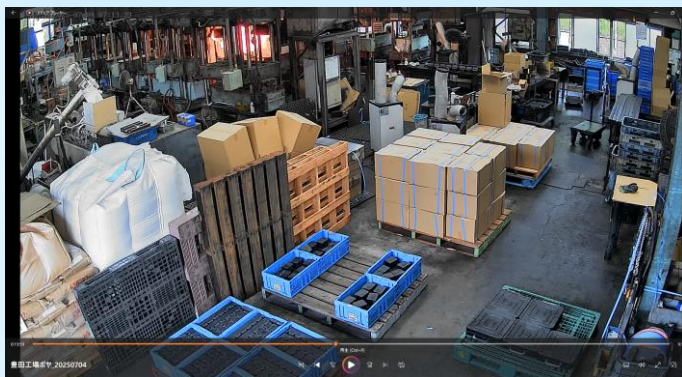
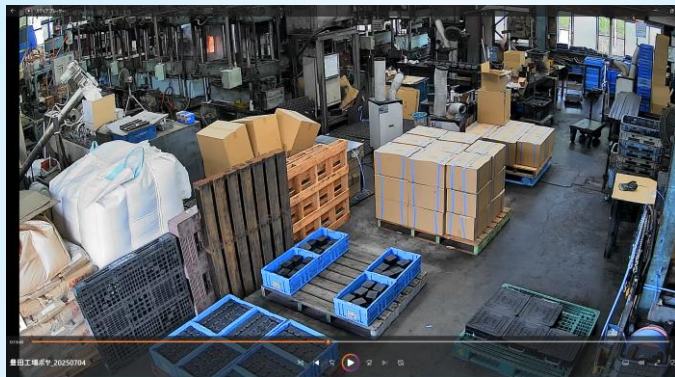
Standard Transport Group



トラブル報告

7月4日（金）朝7：13に関連会社のスズエ電気豊田工場にて火災が発生してしまいました。大きな火災ならなかったのが幸いです。

しかしながら今期、消防訓練をしました但那の教訓が生かされず、「火事だぁ〜」の声が出ませんでした。



◆要因考察

1) 前日7/3(木)5:00溶解部自動スイッチが入り当ライフは製造しないにも関わらずオフにせず放置していた。

鈴木部長が見回りし15:00に気が付きみオフにした 10時間の空焚き

空焚きにより残原料の一部が炭化し本日7/4(金)金型を開けたら一部分から火花が散った。

2) 現場員が火花を消そうとエアを吹きかけ火柱・煙が立ち原料のカスが飛びやけどした。

やはり「安全第一」での業務が大切です。

Standard Transport Group



編集後記

今月は、新社員のお知らせはありませんでしたが、またも事故の救護活動による表彰ができたことは、非常に喜ばしいことです。

また現在会社の経営理念にも取り込んでいる「ESG」について、今後は少しずつお知らせしていきます。

安全ニュース、健康衛生ニュースもそうですが、安全第一、健康第一を基本にいろんな取り組みを開始しますので、皆さんもこの社内報から少しでも学んでいただければ幸いです。



Standard Transport Group

